

保安防災

INNOVATIVE（イノベティブ）RC会議

「無事故・無災害を最優先として、働く者と地域社会の安全を確保する」という安全方針のもと、当社では製品の開発段階から計画内容を審議し、安全・品質・環境の観点を踏まえた製品・事業活動の推進に努めています。従来、本会議は「防災会議」として運営してきましたが、新製品の開発から量産

実施段階



防災訓練

各事業所は緊急事態に備え、定期的に消防署などと協力して防災訓練を実施しています。近年はタブレット端末やヘルメットカメラにより、現場の状況をリアルタイムに対策本部に伝える方法も取り入れています。

温暖化による激甚災害の増加に伴い、想定外の事態にも対応できるよう、休日で人が少ない想定や、事前にシナリオを決めない訓練など、各事業所の状況に即した工夫をしています。



地域消防署との合同防災訓練

体制への垂直立ち上げに至る製品実現プロセスに加え、既存製品の量産化や新建屋設置など、製品・事業に関わる重要事項について、各段階でより創造的かつ革新的な価値の創出を目指し、責任ある議論・審議を行う場とするため、2025年より「INNOVATIVE RC会議」へ名称を改めました。

重大環境事故件数 [社外影響を伴う漏えい・基準超過等]

2025年度は、当社グループでは軽微なものを含めて4件の環境事故が発生しました。これらの事故には、基準値を超えた排水の流出や、薬液および車両燃料の漏洩などが含まれています。発生した各事故については、速やかに行政への報告や現場での是正措置を行い、環境への影響が限定的であることを確認しています。事故の主な原因としては、作業手順の不徹底や設備管理の不備、工事エリアでの排水管理不足などが挙げられます。今後は、作業手順や設備点検の強化、再発防止策の徹底を図り、グループ全体で環境管理体制の強化に努めてまいります。

環境関連法令等の遵守状況(2025年)	件数
法令・条例などの違反として行政処分 ※改善命令に至る重大な環境事故	1件
事故など(環境事故など) ※行政からの改善指導、勧告を受けた環境事故	0件
軽微かつ一時的な基準値などの超過 ※行政からの改善指導、勧告を受けない環境事故	3件
苦情・要望(騒音・臭気など)	0件

TOPICS

設備保全・保安防災へのドローン活用

名古屋工場では、設備保全および保安防災の取組みを強化するため、ドローンを活用した点検・状況把握を推進しています。

設備保全の分野では、従来は足場の設置が必要だった高所設備について、ドローンにより上空から安全かつ迅速に確認できるようになりました。これにより、点検の効率化に加え、広範囲を短時間で確認できる体制を整え、異常の早期発見につなげています。

また保安防災の分野では、防災訓練や災害発生時の初動対応においてドローンを活用し、現場の映像を対策本部等ヘリアルタイムに共有できる仕組みを構築しました。現場状況を迅速に把握することで、的確な判断と指示を行い、早期の収束に向けた対応力の向上を図っています。

当社グループは今後もデジタル技術の活用を通じて、安全・安心な操業と持続的な生産活動の実現に取り組んでまいります。

